

てめえ達の命は
無くなりました。

新しい命を
どう使おうと
私の勝手です。

てめえ達は今から
この方をヤツつけに行って下ちい。

それぢわ ちいてんを はじぬる

100てん

100てんめにゅへ

- 記憶をけされて解放される。
- 好きな人間を生き返らせる。

2011.1.29



原作:「GANTZ」奥浩哉(集英社 週刊ヤングジャンプ連載) 脚本:瀬田辰介 音楽:川井憲次 企画プロデュース:佐藤貴博
製作指揮:宮崎洋 製作:大山昌作・角浦和彦・島谷能成・藤島ヒューリック・星雲会・平井文宏・村上博保・大橋貴光・島田洋二郎 エクゼクティブプロデューサー:要田誠治 シニアプロデューサー:菅沼直樹
プロデューサー:田中正 岩曾信弘 ラインプロデューサー:毛利達也 撮影監督:河津太郎 美術監督:田中泰明 監督:横野一氏工 城野:今井剛 装飾:高木一郎 衣装:宮本まさ江 ヘアメイク:本田真理子 スクリプター:田口良子
特撮監督:神谷誠 アクション監督:下村勇二 CGプロデューサー:毛利達也 CGディレクター:土井洋 VFXスーパーバイザー:島川英豊 特殊造型プロデューサー:鶴川昌宏 衣装プロダクション:高橋香織人 助監督:平田謙 製作担当:鈴木正人
企画制作:日本テレビ放送網 制作:ロードアクション・プロデューサー:吉田義典 製作:吉田義典 製作:ロードアクション・プロデューサー:吉田義典 製作:ロードアクション・プロデューサー:吉田義典
企画協力:集英社 週刊ヤングジャンプ編集部 製作:ロードアクション・プロデューサー:吉田義典 製作:ロードアクション・プロデューサー:吉田義典
脚本:東宝 企画:東宝 製作:ロードアクション・プロデューサー:吉田義典 製作:ロードアクション・プロデューサー:吉田義典
製作:2011 GANTZ FILM PARTNERS 製作:ロードアクション・プロデューサー:吉田義典 製作:ロードアクション・プロデューサー:吉田義典
撮影:伊藤新 製作:伊藤新 製作:伊藤新 製作:伊藤新 製作:伊藤新 製作:伊藤新 製作:伊藤新 製作:伊藤新 製作:伊藤新
監督:佐藤信介

gantz-movie.com

残された最後のカリスマ漫画。ついに禁断の実写映画化。



総製作費40億円!
残された最後のカリスマ漫画。
禁断の実写映画化!

死んだはずの人間がGANTZ<ガンツ>に召還され、“星人”と戦うことになるという独創的な設定でカリスマ的な人気を誇る「GANTZ」は、週刊ヤングジャンプ(集英社)で2000年7月から連載開始。コミックスも既刊29巻で累計1200万部を突破している“ヤンジャン”を代表する超人気SFアクション・コミックである。

“自分が生きて還るために星人を殺さなければならない”という理不尽な状況に追い込まれた人々。最初はその世界に戸惑うのだが、星人を倒し得点を重ねることで、好きな人を生き返らせることができる事を知り、戦いは次第にエスカレートしていく。

戦いの世界に魅了される者。愛する人のために戦う者。生きて還ろうとする者。そして、愛する人の帰りを待つ者。極限状態での人間ドラマと超過激なアクションで、全世界から映像化を熱望された「GANTZ」が、ついに禁断の実写映画化をはたす!

ガ ン ツ

逃れられない戦いの連鎖。

死んだはずの人間たちが巻き込まれる終わりのない戦いの始まり。

幼馴染の玄野と加藤は、線路上に転落した酔っ払いを助けようとして電車に轢かれてしまう。次の瞬間2人は見慣れたマンションの一室にいた。そこには同じように“死んだはずの人々”が集められ、リビングの中央には“ガンツ”と呼ばれる謎の大きな黒い球が異様な存在感を誇っていた。

出ることの許されないその部屋で、生き残るためにミッションを“ガンツ”から与えられる。それは“星人と戦い、殺すこと”戦いの場へと転送された彼らは、何者かも分からぬ異形の星人と対峙する。

戦いを終え部屋に戻ると“ガンツ”による採点が行われ、星人を倒し得点を重ね“100でん”になると、この世界から解放されるか、好きな人を生き返させることができると知らされ元の世界に一時的に戻される。

“100でん”を取るまで終わらない戦いの連鎖。

いつ呼び戻されるのか分からないまま元の世界での生活を続ける“死んだはずの人々”。

戦いに目覚め、生き抜くことを選択する玄野と、暴力に支配された世界を嫌悪し、戦いを否定する加藤。

生と死を実感しながら、その不条理な世界での戦いは苛烈を極めていく——。



生きるために、戦え。守るために、戦え。